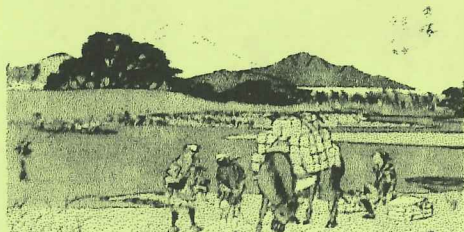


2021年 第3回 湘南社自由民権資料展

伊勢原市制50年記念

伊勢原の近代化と 民権家群像



やまぐち しちろう
山口左七郎



やまぐち しょうすけ
山口書輔



かめい せいちろう
亀井佐一郎



かとう そうべい
加藤宗兵衛

相州最大の民権結社「湘南社」、伊勢原はもっとも多くの民権家を輩出した地域でした

2021年8月1日(日) ▶ 9月26日(土)

午前10時～午後3時(入館無料)土・日のみ
雨岳文庫資料館

■主催 公益財団法人 雨岳文庫(雨岳民権の会)

〒259-1141 伊勢原市上粕屋 862-2 0463 (95) 0002

<https://ugakubunko.org/ohp/>

■後援 伊勢原市教育委員会 0463 (74) 5104

■連絡先 吉水 090 (8081) 6305 横井 080 (3010) 2210 豊 090 (2142) 8677

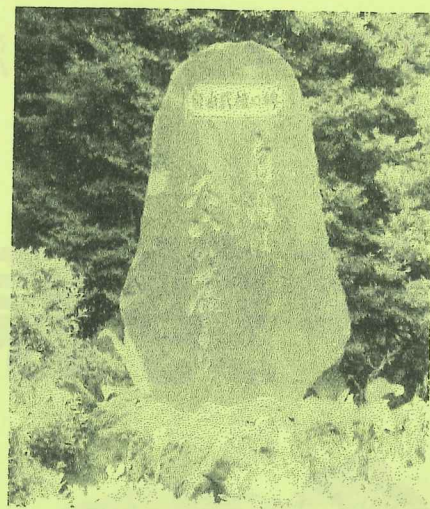
■バス 伊勢原駅「北口4番」乗り場 ～ 大山ケーブル行き「×引(しめひき)」下車3分

1881 年（明治 14）設立された「湘南社」は^{おおすみぐん}大住郡・^{ゆるぎぐん}洵綾郡

を中心とした相州最大の民権結社でした。事務局は大磯におかれます。金目（平塚）・伊勢原・曾屋（秦野）には支所が開設、活発に民権運動が展開されました。

「湘南社」社員は 150 余名。しかし、名前がわかっているのは 80 名程にすぎません。その内、伊勢原出身の民権家はじつに 4 割も占めますが、多くの民権家の実像は埋もれたままとなっています。

今回の資料展は伊勢原地域の民権家群像に焦点をあてながら、伊勢原の近代化という歴史の中で民権家の実像に迫ろうと企画したものです。



自由民権の碑（自由は大山の麓より）

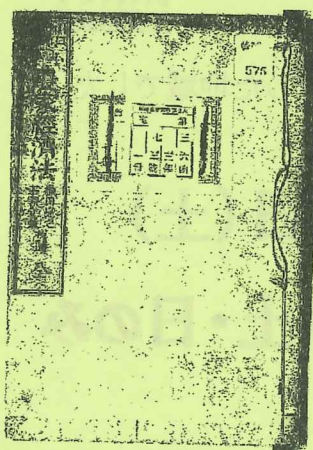
2016 年 6 月 雨岳文庫庭に建立

伊勢原の近代化と民権家群像

主な展示内容

- ・近世の伊勢原（上粕屋村絵図、地域の変遷）
- ・近代化のあゆみ（明治から今日までの年表など）
- ・自由民権の時代（伊勢原の民権家群像、著書・関係資料の展示、史跡・人物などの写真）
- ・海外（アメリカ・ハワイ）へ渡った民権派青年たち
- ・雨岳文庫の紹介

*なお、展示期間中に『特別企画』（民権資料展にかかわる講演・対談）も計画中です。



（雨岳民権の会 蔵）

「小学農業経済法」

やまぐちしよすけ
山口書輔 著

山田浅次郎 出版
明治 19 年 3 月



（雨岳民権の会 蔵）

「欧米人相学」

えぐちたけとし みつはしむらお
江口武寿・三橋村雄共訳

湘南舎（東京小伝馬町）出版
明治 18 年

*ご協力お願いいたします

コロナ感染症対策として、密を避けるため一度の入場者数を 5 人～6 人程度とします。

- ① 受付（氏名・連絡先記入など）で、個別に検温を実施し、マスク着用となります。
また、消毒用品や予備のマスクを用意します。

- ③会場内の換気を定期的に行うなど感染予防に努めます。